

平成27年度

第2回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

■日時：

平成27年7月31日（金）10時00分～12時00分

■場所：

草津市役所 101会議室

■出席委員：

青木委員、小泉委員、小崎委員、高内委員、深田委員、前畑委員、山本委員、吉田委員、米村委員

■欠席委員：

なし

■関係人：

第五保育所 遠藤所長、笠縫東幼稚園 福井園長

■事務局：

子ども子育て推進室 高岡室長、川那邊副参事、林中主任
幼児課 金森課長

■傍聴者：

0名

1. 開会

2. 委員紹介

田所委員の逝去について、報告。新任の高内委員について紹介。

3. 副委員長の選任、職務代理者の指名について

青木委員長より、米村委員を副委員長に推薦し、一同了承。
青木委員長より高内委員が職務代理者に指名された。

4. 議事

草津市立認定こども園の園名案について（園名案候補の選定）

【事務局】

<資料1について説明>

【A委員】

園のある地域以外からも応募があったのか。

【事務局】

市内の方が対象なので、施設のある地域以外からも応募はあった。

【A委員】

周辺地域の方と、その他の地域の方の案で差はどれくらいあるのか。

【事務局】

矢橋町や老上の周辺に住んでいる方から、老上、老上西、きはん等の地域の名前の応募が多かったが、矢橋に住む方からも、地名ではなく、「子どもの育ちへの願い」が込められた園名を応募される場合もあった。また、子どもさんからは地名ではなく、「子どもの育ちへの願い」をこめた園名の応募が多かった。参考資料「園名案一覧」の一番右に大人からの応募を「大」、子どもからの応募を「子」と記載しているので、参考にしていきたい。

【B委員】

資料に「笠縫東ひまわりこども園」と例示されているが、「ひまわり」を「おひさま」に変更する等、委員会で変更することは可能か。

【事務局】

変更は可能です。前回の委員会でもお伝えしたが、数が多いものを選ぶのではなく、ここで議論し、ひとつにまとめていきたい。また、園名案の一覧から必ず選ぶのではなく、2つの案を合わせても良い。

【B委員】

私は選定委員なので、候補を出してはいけないと思い応募しなかったが、応募しても良かったのか。例えば、琵琶湖の鮎が有名なので、「あゆっ子こども園」や「若鮎こども園」が第五保育所に良いと思う。笠縫東幼稚園は「おひさま」が良い。園名案の一覧を見ると笠縫東の方は、「笠縫東」という名前を大事にしておられるので、「笠縫東」を付けて、何かを後ろに合わせるのが良いと思った。

【C委員】

極端に長いもの、短いもの、マークを付けているものがあるが、そういった案も区別せず、選べば良いのか。

【事務局】

今回は広く子どもからも応募をいただいたので、園名案をそのまま載せている。

【C委員】

園名として不適切なもの、例えば人権的に問題のあるものなどは無かったか。

【事務局】

小学校からも応募をいただいており、園名にそぐわないものについては、予め学校で除いていると聞いている。それ以外のものについては、制限を設けず、いただいたものをそのまま載せている。

【D委員】

市内の保育所と類似する名前は無かったか。

【事務局】

小学生からの応募では、自分の通っていた園名を思いつき、応募いただいたものがある。

【D委員】

選定前に、市内の園の一覧がいただけると助かる。

～市内の園の一覧を配布～

【委員長】

園名案の視点として、わかりやすい園名、地域から親しみやすい園名、子どもたちへの願いをこめた園名を募集要項に例示している。選定するにあたり、わかりやすい園名であることは欠かせないが、その他2つの視点についても、こども園の園名として大切な視点となる。「地域からの親しみやすさ」、「子どもたちの育ちへの願い」の2点について、どのような園名が相応しいか候補を絞っていききたい。また、「地域」と「子どもの育ち」の両方を組み合わせた園名案についても、候補とする。

まず始めに、どのような園名が相応しいかそれぞれの意見を伺い、その後、資料1の「6. 園名案の候補」を活用し、こども園に相応しい園名の候補を絞り、次回に最終的な園名を決定したい。

どのような園名が相応しいか、御意見のある方から順次発言をお願いしたい。

【E委員】

笠縫東幼稚園は、笠縫東小学校の横にあり、園章や園歌、園にちなんだマスコットキャラクターもある。できればそういったものを活かしたいので、「笠縫東」という名前は入れたいと思う。そこに子どもたちの育ちへの願いを加えるのは良いと思うが、地域に関しては、「笠縫東」の名前を入れてほしい。また、園歌あわせた、ペープサート（紙人形劇）があり、子どもたちの前で演じると、とても喜び、園歌を口ずさみながら覚えてくれる。そういったPTAで作り、年々活かされているものがあるので、そのあたりも考慮していただきたい。

【F委員】

第五保育所は園歌もマスコットも無いが、小学校の校名（答申）が老上西となったので、地域性を入れたいという意見がある。だが、子どもの意見というのも必ず入れたいと思うので、地域を先に決定し、地域+子どもの考えた園名を加えるという形式で、後に付けるものを応募の中から混ぜる形も良いのではないか。

【B委員】

地域性は「老上西」になるのか。

【F委員】

老上小学校があり、そこから分離する学校の名前が老上西小学校に決定するようだ。私は「矢橋」が良いと思うが、「老上」や「矢橋」、「帰帆」を入れたいという意見もあった。他にも「湖南（みずうみみなみ）」というものもある。

【委員長】

地名に「子どもの育ちへの願い」を加えるという意見をいただいたが、他にいかがか。

【B委員】

やはり希望されているので、「笠縫東」を入れた方が良いと思う。

【C委員】

現在ある施設の一覧では、公立の保育所、幼稚園の名前は固く、私立の方が優しく感じる。そういった意味で今回の認定こども園は、どの位置にあるのか。また、入所される子どもたちのエリアも考えるべきかと思う。第五保育所のある現在のエリアか、もう少し広がるのか。そのあたりも考慮して決めた方がよい。新しく名前を付けるので、どこにあるのかわかるようにするのもひとつかと思う。

【委員長】

入所する子どもたちの通うエリアはどうか。

【事務局】

幼稚園、保育所、認定こども園は、小学校や中学校のように学区が無いので、色々な所から通っていただけ。

【第五保育所所長】

第五保育所は、老上エリアが多いが、あとは様々です。

【笠縫東幼稚園園長】

笠縫東幼稚園は、笠縫東学区の方がほとんどで、あとは年により変動はあるが、渋川学区から10名以内の範囲で来られている。

【B委員】

来られる方のエリアよりも施設のあるエリアに重点を置くべきではないか。

【A委員】

地域の一次避難所、二次避難所があると思うが、保育所が認定こども園になると、避難所としての扱いはどうなるのか。

【事務局】

草津市内の幼稚園、保育所は、小学校へ移動するまでに地域の方が集合するための一時的な避難所としての位置づけがあり、認定こども園も、引き続き地域の一次的な避難所として位置づけられる。

【A委員】

「にこにここども園」では、避難場所がわからなくなってしまう。住所地より少し大きなエリアの名称が、地域属性だけで見ると良いのではないか。そして、その下につける「にこにこ」や「笑顔」がどう違うのか、判断は難しい。

【委員長】

「笠縫東にこにここども園」であれば、地域の名称が入っているのでわかる。避難所としての役割もあるので、やはり最初に地域名が入るほうが良い。

【D委員】

限られたわずかな文字数で地域を表す名前を付けるのは難しく、特に観光資源や特徴的なものが無い笠縫東は、そのままの「笠縫東」という名前が良い。それから、幼稚園から琵琶湖の方へ田畑が多くあり、横には葉山川が流れ、そこで子どもたちが学習をしていることにちなんで、「笠縫東」の後に「みどり」や「たんぼぼ」を付けてはどうか。

【委員長】

地域の他に、もうひとつ重要な点で、「子どもの育ちへの願い」がある。「なかよし」や「ともだち」などの言葉があるが、名詞はいろいろなことを連想できる。例えば「ともだち」では、多様な人間関係の中で育つイメージがあり、「なかよし」も似たイメージかと思う。一覧に挙がっている「にじ」、「にじいろ」と聞くと、多くの人が多様な色彩がまとまり、ひとつの弧を描く様子、架け橋を作る様子を想像する。架け橋というと、ふたつの異なる地域と地域を結ぶ橋、本来別々にあるものを結びつける意味がある。このように読み替えて理念を統合し、似たものをグループに集め、当てはまる名詞を考えると、聞いた人は、我々が願うような子どもの育ちへの願いを受け止めやすいのではないか。第五保育所に「たくましく生きる」という理念があるので、例えば「ひまわり」は、多くの人イメージとして思いつき、「老上西ひまわりこども園」とすると、力強い第五保育所の教育理念を表すことができる。数多くの意

見をいただいているので、そんな風に考えるのも良い。

【B委員】

地域の名前を入れるなら、後はほっとできる名前が良いのではないか。

【委員長】

「グッドフレンズ」、「グッドライフ」というものもあり、これも「なかよし」、「ともだち」に分類されるかと思う。協調性を大切にしながら、子どもたちにどうなってほしいのかと考えたときに、「なかよし」や「にこにこ」という人と人との関わりの中で何か成し遂げ成長していくという思いがあると思う。そういった力を幼児期の力として育んでほしい、こういう子どもに育ててほしいというものがある。これは、「たいよう」や「たんぽぽ」などの植物に例えられる。

【B委員】

「たんぽぽ」は「キッズルームたんぽぽ」という施設が既にある。「たんぽぽ」は踏まれても負けない強さがあるが、「ひまわり」のように伸びていく方がイメージにあうかもしれない。

【委員長】

「あおぞら」であればどのようなイメージか。

【F委員】

青空のように輝いてほしいとあるので、輝くというイメージではないか。

【C委員】

大きく分類すると名詞と形容詞があり、「地域+名詞」とするか、「地域+形容詞」とするかもあると思う。

【G委員】

先ほど、笠縫東の周辺には葉山川があると聞き、自然をイメージした。第五保育所の方は、保育所ということで、可愛いものをイメージした。

【B委員】

私は、他の地域の者だが、応募の一覧を見て、応募者の思いが伝わり、「笠縫東」が良いと思った。

【委員長】

「あおばな」は草津の花であるが、何か特別に笠縫東との関連はあるのか。

【D委員】

草津市の花であり、特別に笠縫東との関連は無い。

【第五保育所所長】

第五保育所はクラスの名前に「すみれ」「すずらん」「こすもす」「ひまわり」「りんどう」を使っている。また、保育所からこども園となるが、0歳～5歳までの子どもたちがいて、縦割りの関係の中でお互いの発達を見ながら、共に育っていくという良さと、それぞれがたくましく育つ良さがある。

【委員長】

現在のクラス名にあるものを園名とすると、クラス名の変更が必要となる。

【F委員】

クラス名は、こども園となった場合も変わらないのか。

【第五保育所所長】

「クラス名と重複するが、園名はこれが良い」という結論となれば、クラス名は、新たに考えていかなければならない。

【D委員】

クラス名も参考に検討しなければならない。

【笠縫東幼稚園園長】

笠縫東幼稚園は現在「たんぽぽ」、「ひまわり」、「つき」、「にじ」のクラスがあり、あと2クラス増える予定だが、名前については未定。過去には「あさがお」と「ほし」があった。

【D委員】

植物の名前は、避けた方がよい。

【C委員】

保育所でも、幼稚園でもなく、新しいと感じられる名前が良い。例えば「認定」と入れるという考え方もある。

【委員長】

「認定」については、「こども園」と決まっていなかったか。

【事務局】

「こども園」で終わるものとしてほしい。

【B委員】

クラスの名前に無いものとする、「おおぞら」や「あおぞら」などになる。

【F委員】

第五保育所であれば、クラス名が花の名前なので、例えば「おひさま」であれば、育つイメージになる。「あおぞら」も同様。花の名前は避けた方がよい。「さくら」も近くにさくら坂保育園があるので、避けた方がよい。

【A委員】

現状の保育所の状態をどの程度みなければいけないのか。園歌を残す前提で話すべきなのか、変更の可能性も想定して話すべきなのか。

【事務局】

第五保育所には園歌がない。笠縫東幼稚園には園歌があり、その園歌が定着し、残したいという意見もある。

【A委員】

園歌を残すかについても、委員会で決定して良いのか。

【事務局】

議論し決めていただく。新しく園名を決めるにあたって、まずは一からの議論ということで、あえて園歌の資料を出していないが、園名を決める中で必要であれば参考として資料配布させていただく。

【A委員】

事務局の案があるのならば、先にいただき検討に入れていきたい。また、園歌を残してほしいという意見が出ているのであれば、それも含めた方が合理的であり、園歌をベースに考える園とそうでない園を分ける方がよい。園歌をベースに考える園があるのなら、委員全員が園歌の内容を知っている方が、公平な議論ができる。

【事務局】

園歌を残すことは確定ではないが、参考として見ていただけるよう資料を用意させていただく。また、事務局案ではないが、600件の応募をいただいた中で、園名に込められた「思い」を見て気づいた点について報告させていただく。先ほどの委員長からの意見にもあったが、大人からも子どもからも、仲

良く園生活を過ごしてほしいという意見が多くあった。また、「にじいろ」という園名には、「元気にのびのびと、素敵な子どもがいっぱいいる園となってほしい。」という願いや、「ひとつひとつのクラスの架け橋。こども園と小学校をつなぐ架け橋。子どもと保護者、先生をつなぐ架け橋。色とりどりの個性と価値観、みんな違ってみんな良い。」という願いが込められている。「みんな違ってみんな良い。」という思いは大人からも子どもからも寄せられており、共通する点だと思う。他にも、第五保育所の園名案に「ふたば」があるが、「ふたつの場所が合体したから」という意見や、「ひとつの根からふたつの葉が出てくる。協力してすくすく育つという思いを込めて。」という意見をいただいた。幼稚園と保育所というふたつのものから先生や子どもが協力し合いすくすくと育つようにという思いが、子どもから寄せられた。笠縫東幼稚園でも「わかば」という園名案をいただいている。「初々しく元気な子どもたちをイメージして考えました。すくすくと育つわかばのように、元気にのびのびと園生活を楽しんでほしいと思います。」との思いが込められている。「かがやき」という園名案では、「子どもや家族、先生も地域の人たちも笑顔が輝くこども園となってほしい。」という願いが込められていた。事務局では、園名案に込められた思いを中心にみていたので、参考としていただければと思う。

～笠縫東幼稚園 園歌資料配布～

(委員長 朗読)

【委員長】

「みんな」や「一緒に」というフレーズが出てくるが、この歌詞は笠縫東幼稚園の教育目標とも合わせて作られている。教育目標は「友だちと仲よく遊ぼうよ元気な子ども」、「目指す幼児像」にも「友だちと仲よく遊べる子ども」とある。

【H委員】

前回、初めて幼稚園と保育所を見学させていただいたが、笠縫東幼稚園を見て、自然の中にある幼稚園だと感じた。地域も含めて、今から輝いていくような感じを受けたので、「かがやき」という園名は良いと思う。

【C委員】

まず地域名という視点から「老上西」、笠縫東幼稚園なら「笠縫東」を入れ、その後どちらの園にも「かがやき」を入れるのもひとつの案かと思う。新しくできる認定こども園には必ず「かがやき」と入れるとすることもできる。

【B委員】

花の名前は避けた方が良いか。

【委員長】

植物の名前はどちらも避け、クラス名との重複も考慮した方が良い。そして、笠縫東幼稚園は、自然の中で育つイメージがあると良いという意見があった。地名は「笠縫東」と第五保育所では「老上西」、「矢橋」、「帰帆」が候補となっている。今日の委員会では候補をひとつに絞らなくてもよいか。

【事務局】

資料1「6. 園名案の候補」を活用し、今日は候補を2、3案まで絞り、一度持ち帰って団体の意見なども集約していただき、次回の第3回で決定したい。

【委員長】

「地域からの親しみやすさ」では、第五保育所の場合、「老上西こども園」で良いか、「老上西〇〇〇

○こども園」と考える必要があるか。

【事務局】

園名案が「地域からの親しみやすさ」のみとなる可能性もあったため、表を3列に分けたが、これまでの議論では、「老上西〇〇〇〇こども園」という形で議論をされているので、「地域+育ちへの願い」かと思う。

【事務局】

地域名では「老上西」と「矢橋」を候補とし、育ちへの願いでもそれぞれ候補を決定し、次回に組み合わせを考えていただいても良い。

【C委員】

組み合わせでも構わないのか。

【事務局】

先ほどから、組み合わせという方向性で議論がなされていた。地名だけでも構わない。

【C委員】

応募のあった園名案から選ばなければならないのか。

【事務局】

応募のあった園名案を参考として考えていただきたい。

～休憩～

【委員長】

老上西には第五保育所の近くにもうひとつ第三保育所があると聞いたが、そちらもこども園になる際に「老上西」を園名として希望されるのではないか。

【F委員】

第三保育所は老上小学校の方が近いのではないか。

【C委員】

学区は老上西となる。同じ小学校区内に、第五保育所と第三保育所がある。

【委員長】

第五保育所が先に「老上西」を園名とすると、第三保育所は別の名称を使わなければならない。

【B委員】

第三保育所の中には、「老上西」の後につけるものを変えればよいのではないか。

【委員長】

同じ「老上西」とすると混乱する。

【A委員】

第三保育所と第五保育所の位置など、詳細を説明していただきたい。

【事務局】

小学校は現在13校あり、老上が老上西に分離すると14校となる。幼稚園は、各学区にひとつずつではないが、10ヶ園ある。保育所は、学区に関わらず、例えば第三保育所と第五保育所は同じ学区にあり、全部で6ヶ所ある。今後の計画でも草津保育所と中央幼稚園を、第六保育所と大路幼稚園を統合する予定であり、今回のケースのように必ずしも小学校名を園名とすることができない可能性もある。また、先ほどの議論にもあったが、「地域名+〇〇〇こども園」となると、今後のこども園でもおそらく

同じようになると思われる。こども園の園名には、必ず同じものをつけるという意見もいただいたが、今後の方向性まで決定すると後の園にも影響が出てくる。本日いただいた意見をもとに、事務局として方向性をどのようにしていただきたいかなどがあれば、内部でも調整をするので、今回は第五保育所と笠縫東幼稚園のそれぞれの園について複数の案を検討いただきたい。

【委員長】

第五保育所では地域性として複数の案があるが、笠縫東幼稚園は「笠縫東」のひとつのみとなっているが、他に案はあるか。

【D委員】

地域性を他に挙げるのは難しい。地名ではないが、先ほどもお伝えした「みどり」など環境を表現するものが良いのでは。

【B委員】

第三保育所と第五保育所は離れているのか。

【第五保育所所長】

子どもたちでも行ける距離であり、それほど離れていない。

【B委員】

離れていないということは、地域性の名前が全く同じでもおかしくないということか。

【F委員】

こども園と同時にスタートする老上西小学校には第五保育所の方が近いが、同じでもおかしくはない。

【G委員】

「老上西」が広い地域で、「矢橋」がその中にあると思うが、第五保育所と第三保育所は同じ矢橋町となるのか。

【C委員】

第三保育所は橋岡町になる。

【G委員】

細かい地名で分けるか、同じ「老上西」とするか、どちらが良いか。

【B委員】

小学校と同じ時期にスタートするので、同じ園名が良い。

【委員長】

案としては、「笠縫東」、「老上西」、「矢橋」、「帰帆」だが、「帰帆」は近隣の施設と同じ名前となるのか。

【第五保育所所長】

隣にあるデイサービスが「きはん」という施設名である。

【委員長】

ややこしくなるため、「きはん」は避けた方が良い。

【D委員】

笠縫東幼稚園の地域性で、笠縫東から発信するという意味を込めて「東風（とうふう）」とするのはどうか。

【E委員】

笠縫東幼稚園は住所では平井三丁目となるので、候補に「平井」も挙げられると思うが、園歌について、保護者だけでなく、卒園児からも変更を悲しむ声がある。園歌や校歌はいくつになっても覚えてい

るもので、園歌との繋がりや、隣が笠縫東小学校であることを考えると、「笠縫東」が地名として良いと思う気持ちが強い。また、幼稚園には地名がついているというイメージがある。第五保育所も小学校の近くなので、「老上西」も良いとも思うが、もうひとつ施設があるのなら、「第一」「第二」とするより、もう少し細かい地域名を付ける方が、わかりやすく伝わると思う。

【B委員】

あまり細かい地名とするのは、狭いイメージがある。

【委員長】

地域名としては、候補がそろった。「子どもの育ちへの願い」はこれからキラキラとこども園も地域も輝いていくという「かがやく」、「かがやき」などの意見があったが、他にも似たニュアンスで「あおぞら」、「おおぞら」という案もある。

【B委員】

「おひさま」はどうか。

【委員長】

「おひさま」も当てはまる。自然を入れたいという意見もあったが、クラス名との関係では植物の名前は避けた方が良いかと思う。

【G委員】

「わかば」ならどうか。

【委員長】

「わかば」もある。他に「なかよし」や「にこにこ」という意見も数多くある。

【A委員】

募集総数の差は何によるものなのか。

【事務局】

第五保育所は、山田小学校と老上小学校からも数多く応募いただいているので総数が多い。笠縫東幼稚園も、笠縫東小学校からも応募いただいたが、学校内で候補を選定し応募をいただいたので、数が少なくなっている。

【A委員】

では数では判断せず、思いを見る方が良い。

【委員長】

「なかよし」は全国的にみても園名についている数が非常に多く、新しさがあまり感じられないと思う。

【F委員】

第五保育所で応募のあった「にじ」、「にじいろ」も、思いがすごく良かった。第五保育所で他には「あおぞら」、「おひさま」、「きらきら」もある。

【B委員】

育ちへの願いは、第五保育所と笠縫東幼稚園でわけなくても良いのでは。

【委員長】

同じでも構わない。第五保育所の目指す子ども像を見ると「たくましく育つ」ということがキーワードになる。

【B委員】

私のイメージは「あゆっ子」である。滋賀で有名な鮎のイメージが、第五保育所の園名としてひらめ

いた。もしくは、「若鮎（わかあゆ）」が良い。

【委員長】

今回の園名案候補として、これらを選定したということによろしいか。

【事務局】

今日の委員会では候補案までとなり、これをベースに各委員の意見や、各団体に意見をまとめていただくことになる。

【委員長】

園長、所長から意見はないか。

【第五保育所所長】

公立保育所は現在、第一から第六までの名前がついているが、新たにスタートするこども園にとっては、親しみやすく、そのこども園のカラーが出るような名前がつくと特色があるのではないかと感じている。地名だけの固いイメージよりも「0歳～5歳までの子どもたちがいて、こんなに楽しいところだ」という雰囲気が総称される園名が良いと個人的に思う。だが一方で、笠縫東幼稚園には園名の入った園歌があり、その園歌と合わせた歴史があると思うと、「笠縫東」の名前は大事だとも感じる。

【B委員】

それならば、地名は無くても良いのではないか。笠縫東幼稚園は地名がある方が良いと感じたが、第五保育所は小学校と同時に開園するからといって、こども園も同じ名前にする必要はない。

【第五保育所所長】

いろいろな関係性がでてくる。第五保育所は第三保育所が近くにあり、今後、草津保育所と中央幼稚園の統合も検討すると、それぞれ特色があつてよいのではないかと個人的には思う。

【委員長】

これまでは、地名と保育の理念を合わせた園名を考えてきたが、地域名のみ園名があるのなら、「子どもの育ちへの願い」を2つ組み合わせた「あおぞら+なかよしこども園」なども良いのか。

【事務局】

「子どもの育ちへの願い」を2つ組み合わせることも可能であるが、今日の議論では、名前からすぐに場所がわかる方が防災の面から見ても良いという意見もあったので、その意見なども踏まえて、「地域の名前」、「子どもの育ちへの願いの名前」、「2つを組み合わせた名前」の3つのパターンを次回検討いただきたい。

【委員長】

それでは、今回は候補のみの選定とし、組み合わせについては次回としていく。笠縫東幼稚園はどうか。

【D委員】

「笠縫東」が最初にくる「笠縫東かがやきこども園」ではなく、「かがやき笠縫東こども園」も可能ということだが、順番を変えるとイメージが変わってくる。

【笠縫東幼稚園園長】

笠縫東幼稚園の園名案には、「笠縫東」という名前を残してほしいという意見も多くあり、第五保育所のように近くに公立施設があるわけでもなく、学区内にあるあゆみ保育園とも名称が重複しないので、私自身も「笠縫東」は園名に入れていただきたいと感じている。また、園名案の一覧を見ると、様々な思いや願いをもって募集いただいているので、こども園が大事にしていきたい理念を表すものと合わせる形が良いのではないかと思います。また、それぞれの園名のパターンが違う方が、今後のこども園の園名

を検討する際に選択の幅が広がると思う。今回はそれぞれの園をベースにこども園となるので、案を検討しやすいが、草津保育所と中央幼稚園、第六保育所と大路幼稚園は統合されるので、様々な意見、もしくは固まった意見が出てくると想定すると、名前の付け方にも柔軟性がある方が良いと思う。

【A委員】

私は地域属性でと考えている。地域名の後に何かを付けるのは違うと思う。目指す子ども像や教育目標で謳う方が望ましいと思う。名称は一度決まると途中で変えられないので、そこに思いや深いものを含めるよりも、認識しやすいものとして、教育目標に盛り込む方が、今後、園歌の検討もあるので良い。地域の思いを大切にされた方が良いとも思うが、そのあたりも考慮していただきたい。

【C委員】

私も賛成である。地域の名前だけで十分だと思う。園歌に込める方が良い。どこにあるのか、どこにできるのかという方が大事であり、後のことを考えるとそちらの方が良い。「こども園」という名前自体が、新しいものであることを表している。

【委員長】

組み合わせのことを検討する際に、お二人からいただいた地名だけで十分という意見も踏まえ、次回ご意見をいただきたい。事務局から何か連絡はあるか。

5. 閉会

【事務局】

本日、検討いただいた園名案の候補については、事務局で取りまとめ、郵送させていただくので、団体の意見や、委員それぞれで考えていただき、次回に意見をいただきたいと思う。また、園名案の決定の他に、園歌・園章の募集スケジュールや詳細についても議論いただきたいと思う。